

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 23日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市鶴見区平安町二丁目29番地の1

氏名 株式会社京三製作所
代表取締役 戸子台 努

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社京三製作所 代表取締役 戸子台 努				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市鶴見区平安町二丁目29番地の1				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	30 情報通信機械器具製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,147	kl	自動車の台数	台

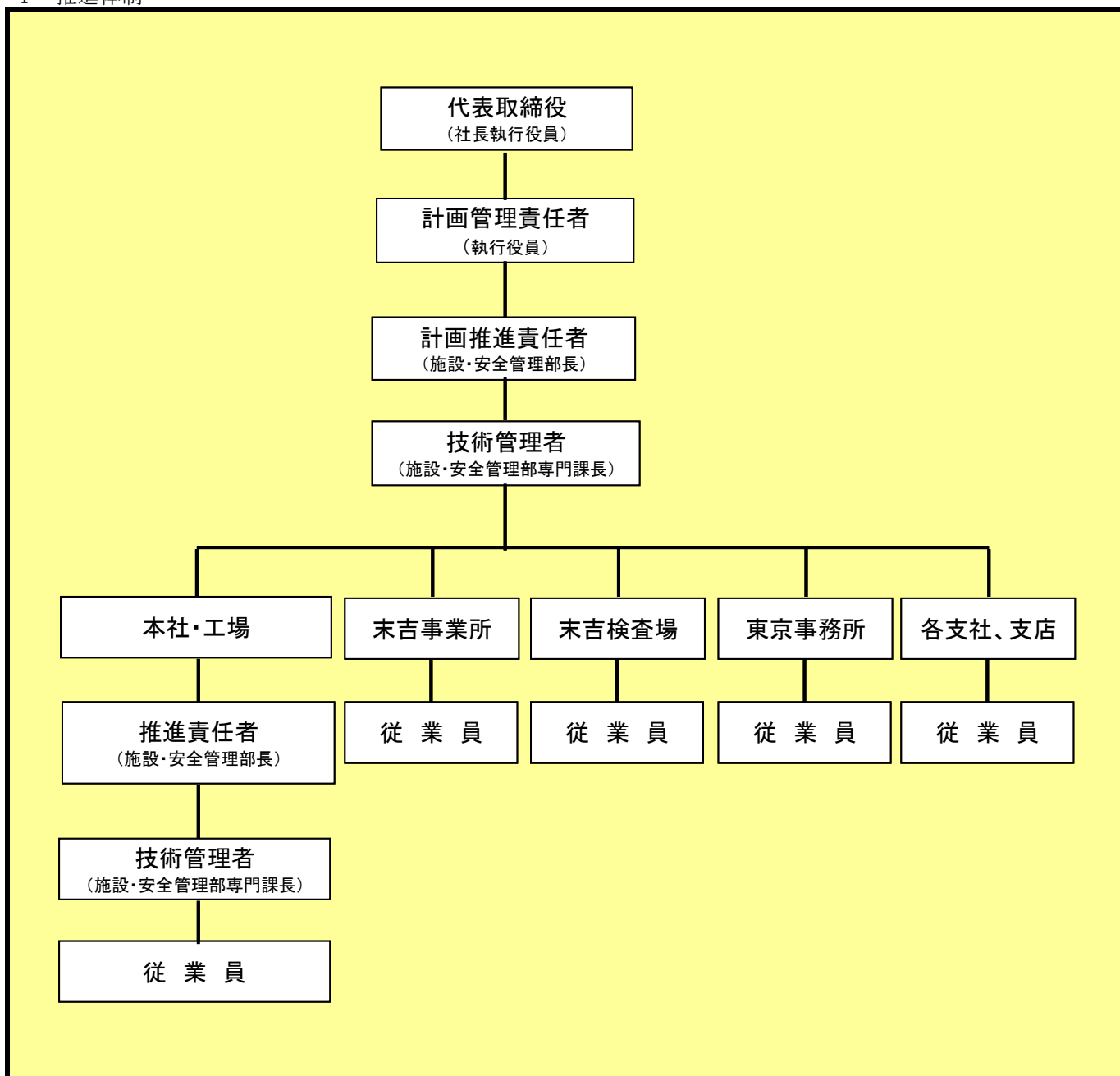
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>1) 当社の「環境方針」に則り、環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置づける</p> <p>2) 環境保全に関する目的・目標を技術的・経済的に可能な範囲で設定し、定期的に見直しを行う</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備</p> <ul style="list-style-type: none">・照明設備 <p>②上記①の設備を選択した理由</p> <ul style="list-style-type: none">・設置台数が多く、エネルギー使用量削減に大きく寄与するため <p>③設備更新スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none">・照明設備のLED化 <p>2017年度：253台（12.9kW→5.9kW）</p> <p>2018年度：89台（4kW→1.83kW）</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	本社 施設・安全管理部
	所在地	横浜市鶴見区平安町二丁目29番地の1
	閲覧可能時間	営業日 9:00～16:00（土日祝日を除く）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,304	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	4,234	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,175	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	1. 工場再整備による省エネに配慮した建屋の建設、老朽建屋を解体する 2. 空調設備の運転管理を改善する （給気温度、給排気運転、熱源冷温水温度など） 3. 試験設備の運転管理を強化する 4. 蛍光灯器具を省エネ型に更新する（HFをLED化） ことにより、CO ₂ 排出量の削減目標を達成する								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	4,013	t-CO ₂	削減率	6.8 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,900	t-CO ₂	削減率	7.9 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	空調設備の運転管理を改善、標準化（冷温水温度の季節に応じた設定、熱源機台数制御設定の変更、電気室PACの設定変更）することで、258,293kWhを削減。試験設備の運転管理を強化することで36,769kWhを削減しました。								
第二年度 (2017年度)	排出量	4,181	t-CO ₂	削減率	2.9 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,931	t-CO ₂	削減率	7.2 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	照明設備のLED化（253台）により10,740kWhを削減しましたが、生産が大きく増大したことにより、全体としては400,000kWh増加しました。 （内、標準化に係るものは114,187kWh増加）								
第三年度 (2018年度)	排出量	4,219	t-CO ₂	削減率	2.0 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	3,875	t-CO ₂	削減率	8.5 %		削減率		%
目標等の達成状況 及び説明	照明設備のLED化（89台）により4,814kWhを削減しましたが、例年以上の期末集中での工場稼働の影響もあり、全体としては32,000kWh増加しました。 （内、標準化に係るものは13,600kWh削減）								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	空調設備の運転管理改善の標準化や照明器具のLED化などの対策を実施し、エネルギー使用量の削減に取り組みましたが、基準年度（2015年度）に比べて生産量が増大（1.135倍）したことによりCO ₂ 排出量の削減目標は達成できませんでした。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,182	1	3,930	1	4,103	1	4,132
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	2	122	2	83	2	78	2	87
合計	3	4,304	3	4,013	3	4,181	3	4,219

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当設備無	非該当	/	—	年度	該当設備無	非該当	/	—	年度	該当設備無	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 11/11	—	年度		実施済	(設備の種類) 11/11	—	年度		実施済	(設備の種類) 11/11	—	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 9/9	—	年度		実施済	(設備の種類) 9/9	—	年度		実施済	(設備の種類) 9/9	—	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備無	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度		実施済	(設備の種類) 7/7	—	年度		実施済	(設備の種類) 5/5	—	年度		
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 4/4	—	年度		実施済	(設備の種類) 4/4	—	年度		実施済	(設備の種類) 3/3	—	年度		

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		12.61 %		4,219		2,268.6		1,736.6		532					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	太陽光発電設備の導入	本社・工場	2013		昼間買電	61,173	kWh	31.3	太陽光発電設備（40kW）を導入した （H22年に20kW、H25年に20kW）	昼間買電	0	kWh	0.0	31.3	千円
2	照明設備の高効率化（HF化）	本社・工場	2013	グロー、ラピッド式の照明器具を使用していた	上記以外の買電	615,162	kWh	315.0	HF照明器具に交換した	上記以外の買電	357,871	kWh	183.2	131.7	千円
3	照明設備の高効率化（LED化）	本社・工場	2015	HF照明器具を使用していた	上記以外の買電	29,536	kWh	15.1	LED照明器具に交換した	上記以外の買電	15,657	kWh	8.0	7.1	千円
4	空調設備の運転制御方法の見直し	本社・工場	2015		上記以外の買電	1,749,156	kWh	895.6	外調機間欠運転による運転時間削減 給気温度の設定見直し 熱源機（ターボ、チラー）の運転配分見直し	上記以外の買電	1,490,460	kWh	763.1	132.5	千円
5	排気ファンのインバータ化	本社・工場	2015	排気ファンの風量をダンパー開度で調整していた	上記以外の買電	33,915	kWh	17.4	排気ファン（4台）の風量調整をインバータ化した	上記以外の買電	14,254	kWh	7.3	10.1	千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
6	変圧器の高効率化	本社・工場	2014		上記以外の買電	117,643	kWh	60.2	変圧器10台を3台(トップランナー)に集約した。 変圧器3台を更新(トップランナー)した	上記以外の買電	0	kWh	0.0	60.2	千円
7	空調設備の運転制御方法の見直し	本社・工場	2016	外調機間欠運転による運転時間削減 給気温度の設定見直し 熱源機(ターボ、チラー)の運転配分見直し	上記以外の買電	1,758,984	kWh	900.6	季節毎の冷温水温度変更 熱源機台数制御設定変更 電気室PAC設定変更	上記以外の買電	1,500,691	kWh	768.4	132.2	千円
8	試験設備(VVVF)の運転管理強化による待機電力削減	本社・工場	2016	試験設備(VVVF)未使用時でもVCBを投入していた	上記以外の買電	36,769	kWh	18.8	試験設備(VVVF)未使用時のVCB遮断	上記以外の買電	0	kWh	0.0	18.8	千円
9	照明設備の高効率化(LED化)	本社・工場	2017	Hf照明器具を使用していた	上記以外の買電	19,574	kWh	10.0	LED照明器具に交換した	上記以外の買電	8,833	kWh	4.5	5.5	千円
10	照明設備の高効率化(LED化)	本社・工場	2018	Hf照明器具を使用していた	上記以外の買電	8,878	kWh	4.5	LED照明器具に交換した	上記以外の買電	4,064	kWh	2.1	2.5	千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電	2013年度	40kW	61,173kWh
2	LED照明器具の導入	2014年度	HF64WをLED39Wに更新交換	15,657kWh
3	LED照明器具の導入	2017年度	HFをLEDに更新交換（13.05kW→5.89kW）	10,740kWh
4	LED照明器具の導入	2018年度	HF45WをLED20.6Wに更新交換（4kW→1.83kW）	4,814kWh
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	334	東京電力エナジーパートナー
2	再エネの利用	2018年度	本社・工場	10	太陽光発電
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見クリーンキャンペーンに参加し、本社周辺の清掃を実施 ・資源購入量の削減、廃棄物の削減、再利用等を実施 ・木枠、梱包材のリユースによる使用量の削減 ・鉄道コンテナ輸送によるモーダルシフトの推進
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・上記内容を継続的に実施する ・建設中の建屋で雨水を再生利用する。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上記内容を継続して実施した。 ・建設した建屋に雨水再生利用設備を導入した。
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上記内容を継続して実施した。
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上記内容を継続して実施した。

14 実施状況等に対する自己評価

<p>基準年までに実施していた事項を継続的に実施するとともに、新設建屋には、LED照明、人感センサー、空調遠隔制御や雨水利用設備を導入し、環境負荷の低減に努めました。</p>
